

広島食品工業団地協同組合内で処理される食品製造業から発生し、当工業団地内で嫌気性処理される排水については、その処理工程においてバイオガスが生成されていた。

バイオガスから生成された熱の利用設備(熱配管)を整備することで、組合員企業で従来熱生成のため使用されてきた化石燃料(A重油)の一部を代替する共に、未焼却で大気中に放出されてきたメタンガスを削減する。

プロジェクトの実施場所	組合内排水処理場
削減量(予測)	年間 882t-CO2
クレジットの発行時期	2012年7月
1t-CO2あたりの希望単価	応相談

広島食品工業団地は地域経済の担い手の一員として、設立以来地元の皆様と共に歩んできました。環境面でも、各社の生産工程で発生する排水についても、単に基準を守るための排水処理を施すだけでなく、地球温暖化の解決に資するべく、生物由来のエネルギーとして有効に活用しています。

具体的には、排水処理工程で発生するメタンガスを回収し、化石燃料の代わりに使用しています。

これにより、化石燃料の使用量を減らし、CO2の排出を削減しています。

この度、当組合ではこうした取組を明示し、そこから発生した環境価値を広く皆様にご利用頂くため、環境省J-VER制度を活用しています。

